

科目名	生活環境論(インテリア論を含む)						
Course Name	Life Environment Plan						
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	吉田 志保						
連絡先(質問等)	福祉棟 3階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(福祉住環境コーディネーターユニット必須)						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と到達目標	少子・高齢化が進行する現代日本では、障害のある無し、高齢や子どもにかかわらず、誰もが快適に生活し、社会生活に参加できる環境が必要となる。そのためには、すべての人にとって機能的で魅力あるユニバーサルデザインが推奨され、福祉住環境に関する専門知識を持った人材が必要となる。この科目では介護保険制度や障害者総合支援法などの法制度や、対象者の身体機能や生活状況に応じた、福祉住環境整備に関する知識を学び、福祉住環境コーディネーター3級の資格取得を目指す。						
授業の方法	授業の形態は講義及び演習を取り入れる。またアクティブラーニングの手法を用いて、グループワークやフィールドワークを取り入れ、自ら利用者の状況や環境についてアセスメントをおこなう。「福祉住環境コーディネーター検定試験3級」について、試験の対策もおこない、資格取得を目指す。						
学習成果	L01						
	L02	身体機能や生活状況に応じた福祉住環境に関するアセスメントをおこない、福祉の専門職として活用することができる。					
	L03	「福祉住環境コーディネーター3級」を取得することで、福祉住環境に関する基礎的知識を身につけることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	平常試験は試験後に模範解答を示し、試験結果は各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	『福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト』改訂5版 東京商工会議所発行						
履修上の留意点やルール等	「●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180分とする。(演習は45分)」 基本的に、福祉住環境コーディネーター3級の試験を受験すること。 授業時には、テキスト本は必ず持参のこと。授業に関係のない物品の授業中の使用を禁止する。また、積極的に授業に参加する事。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に挑むことができるか評価の基準とする。			20	
レポート/作品					
発表					
小テスト	過去問小テストを3回実施する。			30	
試験	福祉住環境コーディネーター3級の試験に準じた択一式の問題及び論述。		50		
その他					
合計			50	50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 暮らしやすい生活環境を目指して「少子高齢社会と共生社会」
	事前・事後学習	身近なバリアにはどんなものがあるかを調べる。
2	授業内容	暮らしやすい生活環境を目指して「福祉住環境整備の重要性・必要性」「在宅生活の維持とケアサービス」
	事前・事後学習	身近なバリアをバリアフリーにするためにどのような方法があるのかを考えまとめる。
3	授業内容	健康と自立をめざして「高齢者の健康と自立」
	事前・事後学習	高齢者が罹患しやすい疾病についてレポート用紙にまとめる。
4	授業内容	健康と自立を目指して「元気な高齢者を目指すために必要な食事、運動」「障害者が生活の不自由を克服する道」
	事前・事後学習	バランスのよい食事のメニューを考えてくる。
5	授業内容	バリアフリーとユニバーサルデザイン 「生活を支えるさまざまな用具」
	事前・事後学習	身の回りにどのようなユニバーサルデザインの商品があるのかを調べる。
6	授業内容	安全・安心・快適な住まい「住まいの整備のための基本技術」段差、手すり、建具
	事前・事後学習	福祉住環境コーディネーター3 級の過去問から出題された問題を事前に調べて解いてくる。(第 43 回)
7	授業内容	安全・安心・快適な住まい「住まいの整備のための基本技術」家具、冷暖房、非常時、メンテナンス
	事前・事後学習	福祉住環境コーディネーター3 級の過去問から出題された問題を事前に調べて解いてくる。(第 43 回)
8	授業内容	生活行為別にみる安全・安心・快適な住まい 移動、排泄、家事
	事前・事後学習	福祉住環境コーディネーター3 級の過去問から出題された問題を事前に調べて解いてくる。(第 42 回)
9	授業内容	安心できる住生活とまちづくり「ライフスタイルの多様化と住まい」「安心できる住生活」
	事前・事後学習	福祉住環境コーディネーター3 級の過去問から出題された問題を事前に調べて解いてくる。(第 42 回)
10	授業内容	福祉住環境コーディネーター3級 過去問小テスト①(教材参照可)
	事前・事後学習	小テスト①のバツ問題について、正答に直す。
11	授業内容	福祉住環境コーディネーター3級 過去問小テスト②(教材参照可)
	事前・事後学習	小テスト②のバツ問題について、正答に直す。
12	授業内容	福祉住環境コーディネーター3級 過去問小テスト③(教材参照可)
	事前・事後学習	小テスト③のバツ問題について、正答に直す。
13	授業内容	福祉用具に関する実際①福祉車両または福祉用具 佐野市社会福祉協議会
	事前・事後学習	本日おこなった演習について考察し、レポート用紙にまとめる。
14	授業内容	福祉用具に関する実際②福祉車両または福祉用具 佐野市社会福祉協議会
	事前・事後学習	本日おこなった演習について考察し、レポート用紙にまとめる。
15	授業内容	福祉住環境についてのまとめ
	事前・事後学習	こらからの福祉住環境について必要な事についてまとめる。